愛板

愛知県
板金工業組合

名古屋市熱田区
森後町1丁目50
電話(681)4734
発行人　柴田嘉市

十月の理事会

組合事務所、職訓教習場

併設を再確認

板金会館建設について協議

本組合の理事会は、十月十八日午後一時半から、名古屋市の愛知県中小企業センター八階第一教室に於いて開催された。この日の議題は、懸案中の板金会館建設と、来年三月開催の全国板金工業組合連合会主催の、第二七回全国板金業者大会に関する件で、出席者は理事長以下二九名であった。

会議は定刻栗田副理事長開会を告げ、柴田理事長の挨拶の後、議題㈠の板金会館建設に関して、理事長より、土地購入のなった建設用地に設置する建物の、利用範囲を中心にして、資金補助金の受入れと管理、職業訓練教習場設置の可否等について綿密に述べ、先の建設計画通り、組合事務所と、職訓教習場を併設することの再確認を求めた。

出席理事数名からは、当然計画通り併設は既定のことで、今更再確認の要なしとの発言があり、柴田理事長は、再確認を求める意義について、最も大切なことであり、将来の運営上、重大な意味も含まれているので、確認を求めたことを再び述べ同時に、今後の建設に関する措置について、無条件の賛意を併せて問うた処、東三の理事代理は、趣意には賛成、但し東三地区の特殊性から挙手は差ひかえるとの発言以外、全員の挙手を以て無条件再確認を決した。

続いて㈡の全国板金業者大会について、来年の開催地が中部ブロックの石川県であるので、成可く大勢の参加を求め、参加の便を図って、予め計画したバス旅行コース（前号掲載）を示して、各支部毎の参加申込み取まとめを要望した。

出席理事は皆この件を諒承、十二月十五日迄にコース毎の参加者の報告をすることになった。

次いで例年行なわれる組合功労者表彰については、十月五日東京の板金会館に於いて開催された、全国理事長会議で、来年度以降、従来組合員二〇〇人に一人の割で推薦した表彰者を、組合員一〇〇人に一人の割に改正されたので、本組合は九名表彰を受けることになった。栗田副理事長はこのことを報告し、本組合としては前年通り各支部より経歴書、支部長の推薦書を添えて、来る十一月十五日迄に組合事務所必着で推薦申込みをすることに決定した。そして申込みを受けた者を常任理事会に於いて、審査選定して表彰者を決定することは例年通りである

尚表彰者の受ける記念品の代金は、全板連と被表彰者の組合とが折半負担となっている件に付いては、人数の増加のため組合負担が過重となるため、表彰該当者の各支部に於いて支弁することを、全員の挙手により決定した。

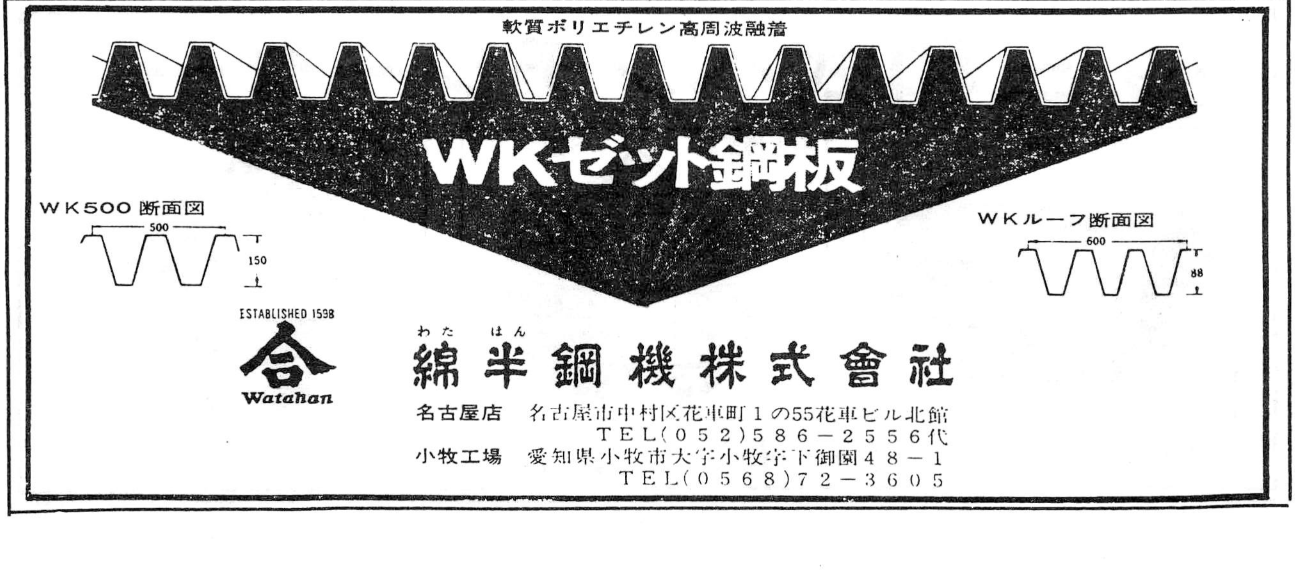
その後、前田常務理事から、板金会館建設資金出資納付の現況報告があり、現在高一六、六六六、六〇〇円と珍らしく六の並んだ数字になっていた。

更に現下の不況を吹き飛ばす意味で、例年通り来春の新年宴会開催を図り、東三支部の担当を拍手裡に決定、建設業法、労働安全衛生法による、各種講習、作業主任者の必要等を種々協議、今後講習会、安全衛生教育等に関して、組合として報知、斡旋等を行なうことを約して午後四時三十分閉会した。

尚閉会前、日東電気工業株式会社及び日昌電材株式会社より、係り社員四名来所、仮止め防水用の板金用両面接着テープについて、サンプル、カタログ持参の上、説明があった。

鉄骨建築に…
富士波ラスシート
TOHO 東邦シートフレーム株式会社
名古屋営業所
☎(582)〇四四一

カラー鉄板
鉄鋼建材
一般鋼材
エスロン雨どい
トーヨー雨どい
ナショナル雨どい
株式会社 武豊屋商店名古屋営業所
名古屋市西区丸野2－53　TEL(052)502－7331(代)
本社　半田市栄町4－166　TEL(0569)21－5351(代)



軟質ポリエチレン高周波融着
WKゼット鋼板
ESTABLISHED 1598
Watahan
綿半（わたはん）鋼機株式會社
名古屋店　名古屋市中村区花車町1の55花車ビル北館
TEL(052)586－2556代
小牧工場　愛知県小牧市大字小牧字下御園48－1
TEL(0568)72－3605

自己防衛に立ち上がる
福島県板金業者のあり方

（鉄鋼新聞記事より）

最近の鉄鋼新聞に、福島県の板金業者多数が共同出資によって、大型加工品の共同製作用の工場を建設、成型機等を導入する準備が進みつつある記事が掲載された。報道によると福島県板金工業組合（理事長栗原勇治氏）加盟の六三八名の組合員のうち、約三〇〇名が共同出資をして新会社を設立し、折版、ダクト等の加工設備をなし、従来外部方面から購入していたものを、自主製作加工せようとするものである。

未だ新聞報道によって知り得たのみで、その真疑はわからないが、計画によると郡山開発公社に対して、郡山中央工業団地内の約三、〇〇〇平米の用地を申込み当初一、〇〇〇平米程の工場を建設し、加工設備としてレベラー、スリッター、折版加工機等の購入予定で、将来加工態勢が軌道に乗れば、月間一、〇〇〇〜一、五〇〇トンを消化する規模に拡充する考えとのことである。

更に材料としての亜鉛鉄板又はカラー鉄板購入に関しては、利潤をあげる上からも従来の流通機構によらず、メーカー直接か、さもなくば窓口商社からの購入を実現したい意向とある。

最近の経済界の落込みは深刻で、特に建設業界の不況による競争受注は激しくそのための余波は下請単価の圧縮となって表われる。然も物価は相変らず上昇し、必然的に労務工賃のアップが要求される。まさに従業員を擁して営業する下請業者はサンドイッチの状態にある。

板金業界は従来、比較的恵まれた環境のなかに温室生活を続けて来た感もあるが、現在の建設業界を直視して、今迄の考えを改めなければならない時が来たわけである。

過去、手加工が主であった頃の板金業は、今では屋根、樋共ほとんど成型品を購入して取付けるのみで、所謂取付屋の感がないでもない。

こうした現情に於いて作業対照の工事の減少は、材料購入の有利なルートを持ち、加工設備を有する大手の板金工事専業会社又は、資材販売店の直営する方面に、施工を奪われることにもなる。又競争して工事を獲得しても、購入する成型品の価格は高く、受注単価は低い。

建設業の年間倒産率は全産業の二〇%とのことである。このような不安定ななかで、如何にして自己防衛するか。弱少零細企業である私達業界では、共同による力の集積こそ必要ではないだろうか。組合とは萎々助け合うためのものである種々の制約等で組合の事業としては出来ない面もあるかも知れない。然し話し合える共通の同志は居る筈である。

今回の報道による福島県の業者による計画が、如何なるものかは知らないが、材料購入先の銘柄、取引先機械の種類、利用度、償却等の問題を含んで、大変な事業とは思うが、新聞記事から受ける印象は、一種の板金業に対する警鐘であり又客観視出来ないことを知るべきである。

鯱鉾

電話を通じての
心のふれあい

十月十六日早朝、ベルの音に受話機を耳にあてると東京の中山さんからの電話であった。

話し終えて時計を見ると午前六時四十五分。家のあたりは静かな住宅街で、まだ表を通る足音もしない。

朝の静けさを破って、滅多にないこの時間の電話に、何事か！と思って聞くと、二年半振りのご不沙汰の挨拶に初まって中日ドラゴンス優勝のお祝いの言葉であった。

東京から、然も朝早くの長距離電話は、何か変ったことでもとの思いの外、瞬間の予想には反していたが、たかが野球チームのことでと、軽く思えないものがある。

中山さんというのは、二年以前、即ち四十七年四月十五日亡くなられた全国板金業界組合事業の大先輩、中山直行氏の未亡人のことで、本紙にもその年の五月、五〇号に氏の絶筆そのままを写し、当時の模様を掲載し各方面から注目をひいたことがあり、又昨年中山氏の一周忌に際して、本組合の板金会館建設資金にと、三万円の特志を頂いた方である。

今日会館建設の土地り購入もなり、各組合員からの出資も順調に進んでいることは、故中山直行氏の奥様からの資金特志第一号のご寄附を受けた感激が、及ぼしているといっても過言ではない。

電話のおもむきは、お互の疎遠の詫に初まり、そして毎号差上げている「愛板」を隅から隅まで読みつくしてから仏壇にあげられるとのことを述べられた後、中日の優勝お目出とう、今日（十六日）からの試合（日本シリーズ）の勝を祈って居りますとのことであった

わざわざ電話をされる程の野球好きとは思えない奥様が、あえてダイヤルを廻されたのは、名古屋の人が、そして私が喜こんでいるであろうとの思いやりから、止むに止まれぬ発露ではないだろうか。

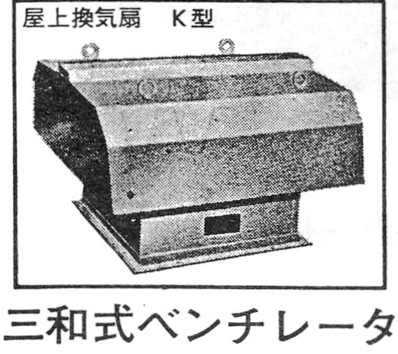
ご不沙汰を詫び合うこともあったけれども、人の喜怒哀楽の機微にふれて、言葉をかける思いやりは最も大切なことと思う。

いささかオーバーともみえるこの電話を頂いて話し終えて受話機を置いた瞬間、目がしらの熱くなるのを覚えた。

この素直な感激も又、オーバーとはいい切れない心と心のふれ合う朝の一ときであった。

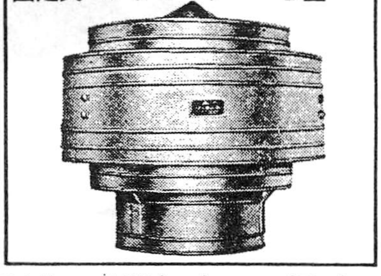
三和式ベンチレーター

屋上換気扇　K型



屋上換気扇　S型

固定式ベンチレーター　D型



三和式ベンチレーター（株）

本　社　稲沢市高重町中道18　TEL(0587)32－4168(〒492)
東京営業所　東京都清瀬市元町7－21　TEL(0424)91－0069(〒180-04)

新四国巡礼記

（知多支部内一周）

栗田政雄

ひょうたんから駒のたとえ通り、全く思いがけないことから、知多半島を一周して、新四国八十八ヶ所を巡歴することになった。それは過日の常務理事会の休憩時間に、何かのはずみにこの話がでて、それなら私が案内しようと、岡戸常務理事が買って出たのが始まりで、ついつい殊勝なことになってしまったわけである。

参加したのは柴田理事長日比野、前田と案内役の岡戸の各常務理事、それに私の五名で、樽井常務理事は参加予定の処、出発直前に所用で止められたが、この催しはあくまで私的の旅行に過ぎず、従って五人が気楽に廻るつもりであった。

処が事は志を離れて異外なことになったのである。組合の最高幹部クラスが揃って知多方面に来ることをだまっていては、後で知多支部内の方々からの苦情もあろうかとの岡戸氏の考えから、この行事が皆に伝わってしまったのである。

八日朝、二泊三日の行程で、相憎くの小雨のなかを出発した一行は、先づ半田の青木四郎氏の出迎えで中食を共にし、三時頃この日に合せて知多支部の役員会開催中の大井漁港の料亭北浜に臨席しての挨拶、その夜も日間賀島の日間賀荘に先方で予約済みで、丸山氏北浦氏等四氏が師崎で待機され行動を共にされる。翌九日は美濃豊吉氏、二村豪一氏等のお世話で、これも予約の鬼崎荘へ前記二氏の外、宮地、斉藤、竹内、平野の四氏も同席され、歓待を受けた次第である。

というような始末で、途中知多の役員宅へ車を止めること五たび、巡礼のかたわら知多の視察懇談となって、考えようでは却って良い機会であったかも知れない。

十月八日午前八時、待ち合せの名四国道大高あたりで落合った一行は、日比野岡戸両氏の自家用車に分乗岡戸氏運転で先行、先づ一番の札所曹源寺で奉納経に朱印を貰う。柴田、日比野前田三氏は初めてのことで奉納経を買求める。私のは家内が先に廻った時、私の名前の奉納経に捺印を受けていたので二度目、驚いたことに岡戸氏のはページ一面真赤な程の印の跡で、下地の寺名も見えない程おしてあった。

それから二番、三番と車を進め、途中大井で知多支部の役員会に臨み、三十数名出席の広間で挨拶後、その日は河和の時志観音で打止め。夕闇せまる師崎港から、波静かな知多の海を渡って篠島経由、日間賀島へ到着、出迎えの旅館のライトバンに、特に参加された知多の四氏共九人、すし詰めに乗って宿に着き、その夜は懇親の宴の後、寝についた。

翌九日知多の四人と別れて、島の二ヶ所を参詣後、篠島へ渡りそれから師崎へ戻って再び乗車、内海、野間から常滑へ入り、これ又予約されていた大野の鬼崎荘へ投宿、同席された六氏共に懇談の花が咲いて、夜更けまで話し合い静かに床につく。

明けて十日そこを出発、知多の西海岸から大高に至り、八十八番から八十七番で予定通り八十八ヶ所の巡歴を終え、中食を共にして解散した。

三日間廻ってみて、地図では少さな知多半島も、車で走っても可成り大きいこと、この巡礼で知った各寺院の場所が、海浜、山間部、農漁村又は島と辺在していて、初めての者では到底わからないことを知った

そのなかを一寸の狂いもなく、次ぎから次ぎへ案内された岡戸氏の先導には、すっかり感心させられた。奉納経が一面捺印で真っ赤になっている程、何回も何回も廻られたたまものであろう。

三日間の自動車の旅を終えて、手を合せておまいりする一行が、何を念じ又は無心に拝んだかは知らないが、すがすがしい連日であったことは、日のたつにつれて印象されるのであった

建設業者の苦しみと

苦しみを打開する意慾

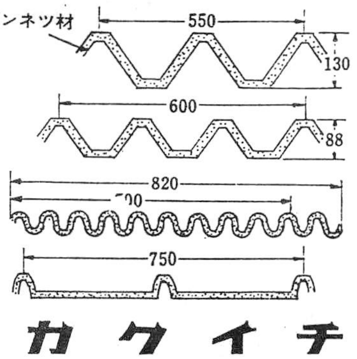
深刻な不況の影響を受け建設業界の経営は極端に悪化している。愛知県に於ける十月の倒産率は全産業の二五%をしめ、今後は更にふえることと思う。

既に大手建設業では、この苦境打開のため、経営の改善、省力化、利益の追及等の手段をもって、懸命に企業防衛に取組んでいるのである。

このような現況を板金業者がどの程度感知しているだろうか。建設事業の一翼を荷なっている板金業界に於ては、放置しているとやがて危機の波の渦に巻込まれることにもなりかねない注意と打開が大切である。

全国に伸びる
アイデアの扇印製品
カラー組立雨樋
ルネパニビ
板ルイタ属金
ルネパ属金
樋雨尺長
安田金属株式会社
本社事務所　大阪市北区兎我野63（日新ビル）　TEL（361）3074
販売部　尼崎市杭瀬井新町４の16　TEL06（481）6041

断熱屋根材
折版屋根材
成型品
ダンネツ550タイプ
ダンネツ600タイプ
ダンネツ波板
ダンネツ瓦棒Mタイプ



カクイチ
ダンネツ鋼板
総発売元　株式会社　カクイチ
名古屋営業所　名古屋市東市水筒先町３－４　電話（代）936－３６１６
（ヒビノビル３階）
東京・大阪・長岡・上田・浦和・相模原・前橋・大阪

◎支部だより

東北支部

東北支部（名古屋東北板金加工組合、組合長日比野定雄）では、恒例の組合員慰安旅行を、十月五〜六日伊豆西海岸探勝（堂ケ島一泊）のコースで催した。

同支部は既に二十数年来春は南宮大社参拝、秋は宿泊付の旅行を続け、北は東北青森、西は九州迄、全国名勝地をくまなく旅行しているが、ここ数年は隔年一泊と二泊にして居り、今年は一泊の番で、かねての計画通り挙行したわけである。

一行は三十三名、そのうちには奥さん数名を交えて色合いも良く、五日午前八時半、市内東区赤塚の山口神明社前から、阪神の観光バスに乗って発車、名古屋インターから東名高速道路を一路東へ、途中浜名湖で小憩後、静岡インターから日本平に至り、秋の色ほのかな樹木越しに静岡や清水の街を見下して中食をとり再び乗車、沼津インターから三島、修善寺を経て船原峠を越し、駿河湾の沿岸を眺めつつ土肥から堂ケ島のホテル銀水荘に到着した。

時計は四時三十分、出発してから八時間である。途中休憩があったものの、長時間のバス旅でさぞ疲れもあろうかと思いの外、一同元気に温泉に入り懇親の席に臨んだ。

日比野組合長（常務理事）の挨拶、栗田副理事長からの組合業務報告、川合副組合長の音頭で乾盃後、賑やかな宴となり流行歌や民謡に声を合せ、歌に踊りに愉快な一夜を過し、打ちよせる波の音、沖にチラチラ見える舟の灯りを賞でつつ寝についた。

翌朝は九時三十分堂ケ島乗船場から遊覧船で堂ケ島の奇岩、景勝を探遊後、往路をそのまま戻って午後五時、出発地に無事帰着、お土産を夫々手にして解散した。

新加入

知多支部

天木　景昕

常滑市蒲池郷中五四

森田　次男

知多市大興寺里一九〇

祈冥福

榊原千太郎殿　死亡

刈谷市中山町一―一三

後記

霜月十一月は暦の上では既に冬の部に入る。

その通り八日は立冬、二十三日は小雪となっている。

然し野も山も紅葉の委節で、深まりゆく秋の行楽に絶好のシーズンである。

日曜と重なる文化の日は繰延べ連休で、三日四日の両日の旅行も多いことと思う。

世界的の視野にたてば狭い日本でも、北と南、又は山と野では寒暖の差が可成りあって、春の桜にしても秋の色にしても、盛りの時期が夫々異なる。

十月下旬訪れた北海道では、紅葉の時は過ぎて落葉が風に舞って居り、桜の満開は五月半と聞いた。

このように気候風土の相違は、それに順応して生活環境を造る。それが家屋の構造となり、必然的に板金事業にも影響する。

本紙八月号に書いた沖縄地方では、風を防ぐことが第一に考えられ、北海道では寒さに堪える屋根材が用いられている。

瓦でもスレートでも又、カラーベスト類でも、寒さに堪える限界があるのか、或は積雪の重量との関係にもよるものか、全道どこを見てもカラー鉄板葺一〇〇%であった。

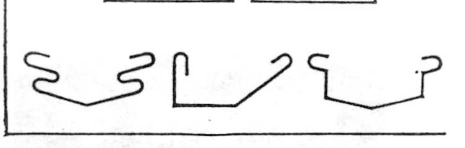
只一戸札幌市中の街角の大きな家屋の瓦屋根を見て珍らしい思いがした程である。

北海道のカラー鉄板屋根で一番多いのは一文字葺、次ぎは立平葺、三番目が瓦棒葺及び菱形葺になっていた。地方の風土と屋根を見るのも面白いものである。

株式会社水原鉄工所
ロール成型機と板金機械工具
住所　大阪市港区波除1丁目4番78号
TEL　06―583―1231
大阪環状線弁天町駅下車北へ6分

大同Pデッキ　ヨドルーフ
販売・責任施工
船津建設株式会社
名古屋市昭和区広路本町4－48
TEL (052) 852―6411(代表) 〒466

CHIYOMITU
プレス・シーヤー
折曲機・ロール
各種板金機械
工具製作販売
下図の様な曲げ方に
使用されて居ります。



野口機械工業有限会社
■名古屋市中区長岡町1の27・TEL　名古屋〈052〉322―3911(代表)